

## 健康

## まめに承らえましょや!

“おなご先生”の独り言の診察室

86

りびえくるの読者の皆さん、まめにしとられますか。忘年会のシーズンになりましたが、どうか飲み過ぎ、食べ過ぎに気を付け胃腸をいたわってごしなはいませ。今回は「胃潰瘍、につつきピロリ菌」の巻。

◇ ◇ ◇

皆さんピロリ菌という名前を聞かれたことがあると思いますが、胃潰瘍や十二指腸潰瘍など胃を中心としたいろいろな病気に関係があるとされています。

このピロリ菌は正式名称をヘリコバクターピロリ菌といいます。ヘリコはらせん形、バクターは細菌、ピロリは胃の出口の幽門(ピ

ロルス)を指します。つまり胃の出口付近の粘膜に住み着いたらせん形の鞭毛(べんもう)を持つ細菌という意味です。

胃は食べ物を消化するために強い酸性の胃液を出しており、昔は細菌は生きないと言われてきましたが、1983年にオーストラリアのワレンと

マシヤルという2人の医師が胃からの分離培養に成功、ピロリ菌の存在は世界中に衝撃

## “胃潰瘍、につつきピロリ菌”の巻

を与えました。

ピロリ菌は胃酸から身を



守るためにアンモニアを生成しアルカリ性の環境を作って生息。菌が作り出す毒素が粘膜障害に関与しているといわれています。日本でのピロリ菌の感染者は約5000万人と推計され、年齢が増すごとに多くなり50代以上では70〜80%の人

が感染しているそうです。高齢者に多いのは戦前戦後の衛生状態が悪い時代に飲み水などから感染したのではないかと考えられています。

この菌に感染すると必ず潰瘍を発症するとは限りませんが、胃潰瘍の患者の約70%がピロリ菌に感染、十二指腸潰瘍の患者ではなんと約90%の人が感染しているといわれています。

もし潰瘍になつていてことが判明すればピロリ菌感染の有無を調べます。ピロリ菌の検査には内視鏡を用いた鏡検法、培養法、迅速ウレアーゼ法、また内視鏡を用いない尿素呼吸試験法、血清抗体測定法、便中抗原法などがあります。そこでピロリ菌に感染していることが分かれば、除菌を試みるのがよいと思います。しかし副作用もあるので主治医とよく相談されることを

おすすめします。

除菌治療は、抗菌薬2種類(アモキシシリン、クラリスロマイシン)と胃酸分泌抑制薬(プロトンポンプ阻害剤)の3種類を1週間服用します。治療後4週間たったところで再検査し、除菌が成功したかどうかを確認します。

1回の治療で約90%の人の除菌が認められます。しっかりと除菌すると、その後は潰瘍の薬を飲む必要がなくなり、再発もほとんどありません。中には胃酸分泌がよくなり過ぎて胸焼けの症状が悪化するといったケースもありますが、ピロリ菌は胃がんとの関連性もいわれており、胃潰瘍や十二指腸潰瘍があり、ピロリ菌に感染している人は除菌治療をおすすめします。(いんべ杉谷内科小児科 院長・杉谷美代子 市東部町)